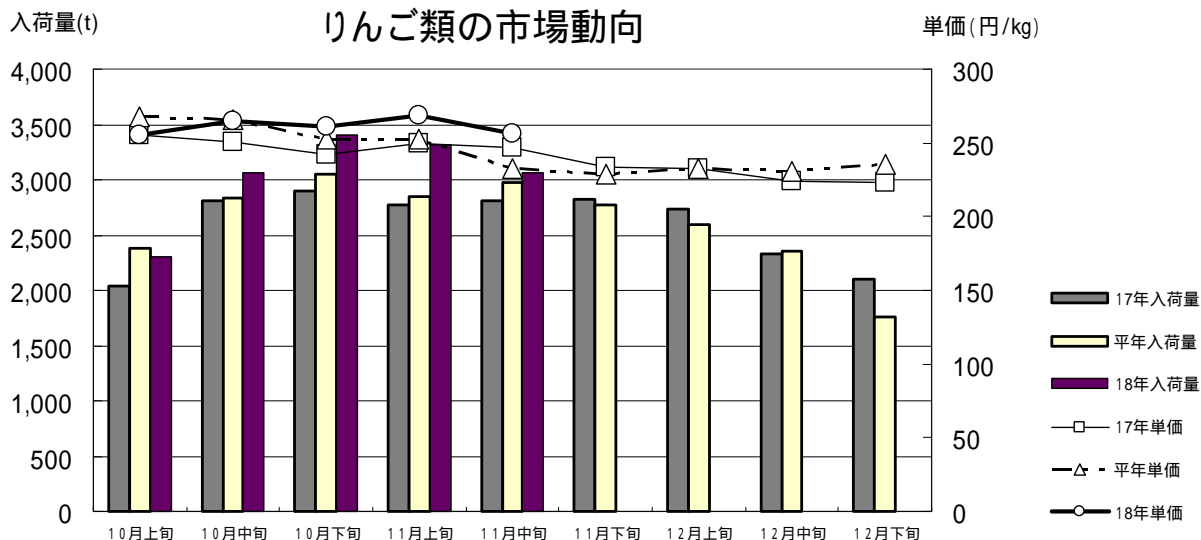


りんご類

(1) 11月の販売状況

上旬	入荷量:	3,315t (前年比 120)	価格:	269円/kg (前年比 108)
中旬	入荷量:	3,062t (前年比 109)	価格:	256円/kg (前年比 104)



11月は山形産、青森産、長野産、岩手産などのふじ、王林、ジョナゴールド、紅玉などバラエティに富んだ出回りとなった。入荷量は前年の1割上回るが、この時期競合する国産みかんや柿、輸入果実の入荷量が1~2割減少したこともあり、価格は前年をやや上回っていた。特に王林は、食品機能が紹介されたことから前年の4割高で取引された。

本県産ふじは、若干小玉傾向だが、4割を上回り、上旬の入荷量は907トンで前年比154%、中旬は1090トンで前年比136%と大幅に上回った。価格は、上旬は292円/kg前年比99%、中旬は240円/kg前年比100%で推移した。

東京都中央卸売市場扱い。

平年は平成12年から16年までの平均値。平年単価は5カ年単価の単純平均。

(2) 12月の見通し

入荷、価格とも平年並み

入荷量
6,938t
前年比 97%
平年比 103%

価格
236円/kg
前年比 104%
平年比 101%

旬別相場予想推移	
上旬	→
中旬	→
下旬	→

りんご全体では青森産(約5割)、山形産(約1割)、長野産、秋田産、岩手産が出回る。品種はふじを中心に王林、ジョナゴールドなどとなる。収穫も殆ど終わり貯蔵物が中心となるが、全国的に生育は順調で、やや前進化傾向のため、12月の入荷量は前年をやや下回る見込み。価格は、果実全体に品薄傾向にあり堅調に推移するも、平年並みの見込み。

ふじは、青森産(約4割)、長野産(約3割)、山形産(約2割)、秋田産が出回る。青森産は台風等の気象災害もなく生育順調で、入荷量は前年並み(約2300トン)が見込まれる。山形産の入荷は11月への前進傾向にあったため12月は前年を下回る見込み。長野産は生育順調であるが昨年の大玉傾向に比べると若干小玉傾向で、入荷量は前年比1割減。

山形セレクションのりんご、ラフランスなどの出回り、大型小売店でもセレクションを前面に出した販促が行われつつある。山形セレクションを販促の牽引として、他農産物に波及することを期待したい。